



2011年3月期 決算説明会

2011年5月25日

ワイイシ株式会社



次 第

1. ご挨拶と会社概要・・・・・・・・・・ 代表取締役社長
百瀬 武文
2. 2011年3月期決算の概要
 ・決算ハイライト・・・・・・・・ 代表取締役社長
 百瀬 武文
 ・事業結果・・・・・・・・ 管理本部経理部長
 古橋 博
3. 2012年3月期の事業計画・・・・・・ 代表取締役社長
 (第10次中期計画3年目) 百瀬 武文
4. (株)デンコーの紹介・・・・・・・・ 代表取締役社長
 福田 辰徳
5. 質疑応答



1. 会社概要



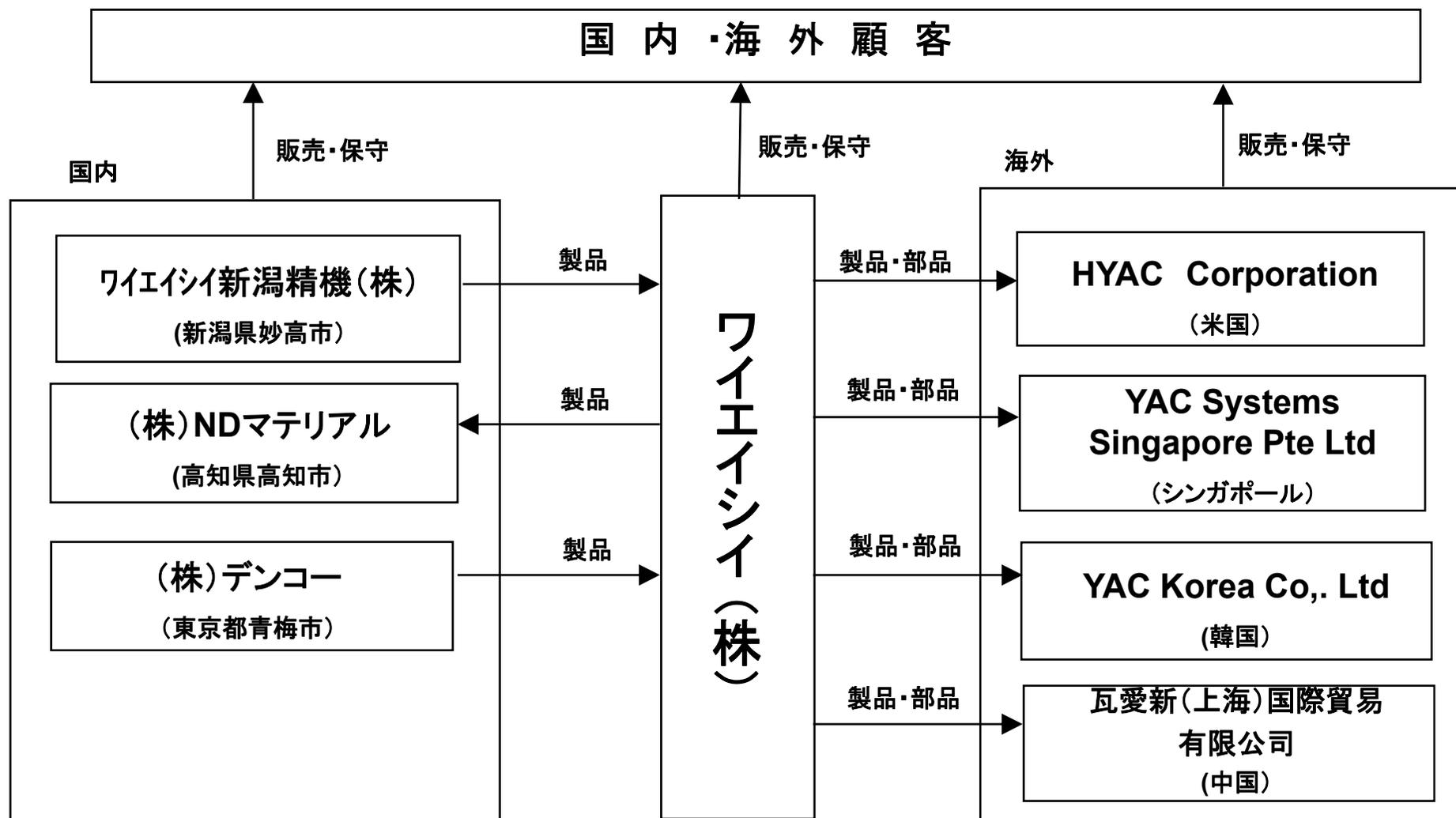
1-1 基本情報

(2011年5月24日現在)

商 号	ワイエイシー株式会社
証 券 コ ー ド	6298 (東証1部)
設 立	1973年(昭和48年)年5月
代 表 者	代表取締役社長 百瀬武文
事 業 所 等	本 社：東京都昭島市武蔵野3-11-10 営 業 所：大阪、昭島、新竹(台湾) 工 場：昭島、山梨、熊本、大分
グ ル ー プ 会 社	ワイエイシー新潟精機株式会社(新潟県妙高市) HYAC Corporation(米国) YAC Systems Singapore Pte Ltd(シンガポール) YAC KOREA CO.,LTD(韓国) 瓦愛新(上海)国際貿易有限公司(中国) 株式会社デンコー(東京都青梅市)
投 資 会 社	株式会社NDマテリアル 篠田プラズマ株式会社
資 本 金	2,756百万円
事 業 内 容	エレクトロニクス関連装置、クリーニング関連装置の開発・ 製造・販売
決 算	3月31日



1-2 当社及びグループ会社の構成





1-3 ワイエイシイの特徴

- (1) 7分野の事業領域
- (2) ファブレス
- (3) M&A、アライアンス
- (4) グローバル企業（アジアに注力）
- (5) 社員の経営参画（大討論会）
- (6) 依命システム



1-4 当社及びグループ会社の主力製品

▲ハードディスク関連

- ・バーニッシャー装置
- ・ワイピング装置
- ・UVキュア装置
- ・クリーンコンベア

▲フラットパネル関連

- ・プラズマ・ドライ・エッチング装置
- ・プラズマ・ドライ・アッシング装置
- ・アニール装置

▲半導体関連

- ・ロジック系IC用テストハンドラー

▲太陽電池関連

- ・製造装置(テクスチャリング・拡散炉・PSG(ISO)・AR成膜 等)

▲FEL関連

- ・FEL用エミッター及びランプ製作

▲クリーニング関連

- ・自動包装機
- ・ワイシャツ仕上げ機
- ・アパレル関連機械

▲精密加熱装置関連

- ・FPD・PV・電子部品・自動車部品用
各種加熱装置



当社及びグループ会社の主力製品

<ハードディスク関連装置>

バーニッシャー	ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、表面のナノオーダーの微小突起を除去する精密研磨装置
ワイピング	ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、バニッシュ工程の前後で、表面のパーティクルの除去及び潤滑財を表面に均一にする装置
UVキュア装置	基盤上の磁性膜面に潤滑剤を薄くなじませる装置(紫外線(UV)の波長に適合した潤滑剤が完成しました)
クリーンコンベア (HD工場向け)	モジュールの組み合わせで自由な搬送ライン設計が可能なローラー式コンベアAGV(自走型搬送ロボット)やOHT(天井架設型搬送装置)に比べ、搬送物をいつでも搬送ラインに投入することができ、搬送効率が高い。
クリーンコンベア (半導体工場向け、 太陽電池工場向け)	(同上)但し、半導体向けは搬送物が300mm用ウエハポット、太陽電池はガラス基板又は約5"ウエハーが入ったカセットで、ハードディスク用に比べコンベア幅が大きく、より高い耐加重性、耐衝撃性、高速搬送が要求される。
クリーンコンベア (液晶工場向け)	(同上)但し、搬送物はパネルサイズに切りだされた基盤を搬送する、ハードディスク用に比べコンベア幅が大きく、より高い耐加重性、耐衝撃性、高速搬送が要求される。



バーニッシャー



ハードディスク用クリーンコンベア



半導体用クリーンコンベア



当社及びグループ会社の主力製品

<フラットパネル関連装置>

プラズマ・ドライ・エッチング
装置

フラットパネルディスプレイの各セルの液晶整列方向を個々に制御する微小トランジスターをガラス基板上に描画するプロセスで用いる。
フォトマスクを通して露光した結果、硬化した部分以外を除去後、露出した薄膜をプラズマを利用してガス化し除去する装置。



第7世代用プラズマ・ドライ・エッチング装置(3チャンバータイプ)

対応
基板サイズ

G2
G4
G4.5
G5
G5.5
G6
G7
G7.5
G8



当社及びグループ会社の主力製品

<半導体関連装置>

ロジック系IC用
ICテストハンドラー

ICのパッケージング後の検査工程で、テスターと接続して使用し、テスターからのテスト結果信号に基づき、ICを良品と不良品に自動選別する装置。
必要に応じて、精度の高い高温・低温(-55°C~155°C)下でのテストも行う。



ICテストハンドラー(4個同時測定・常温タイプ)



新製品 ICテストハンドラー(16個同時測定・常・高温タイプ)



当社及びグループ会社の主力製品

<太陽電池関連装置>

太陽電池(結晶・多結晶)製造装置

結晶・多結晶型太陽の全ライン(インライン・バッチ方式)の製作。

特徴

- ・テクスチャリング (バッチ・インライン装置)。
- ・拡散炉 (P塗布装置・チューブ(バッチ)式・インライン装置)。
- ・PSG(ISO) (バッチ・インライン装置)。
- ・反射防止膜(AR)成膜 (PECVD装置)。
- ・配線印刷 (スクリーン印刷/乾燥炉)。
- ・配線形成(BSF形成) (焼成炉)
- ・その他関連装置

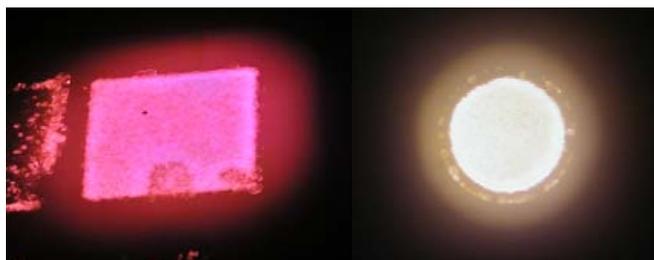




当社及びグループ会社の主力製品

<FEL関連製品>

<p>ナノダイヤモンド薄膜製造</p>	<p>金属等の材料の表面にナノダイヤモンドの薄膜を生成したエミッターを製作。</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・従来の蛍光灯と異なり、水銀・鉛等の有害物質を使用しない。・LED(発光ダイオード)に比べ発光効率が高く省エネ効果がある。・蛍光灯に比べ長寿命である。・蛍光灯、LEDに比べ発熱量が少ない。・色合成の自由度が高い。
---------------------	---



発光写真



試作品



当社及びグループ会社の主力製品

<クリーニング関連装置>

ボディープレス機	シャツを前後から熱版ではさみシャツのボディー部をプレスする装置。 胴立を2つもち、プレス中に次のシャツを装填できるダブルタイプと、胴立がひとつのシングルタイプがある。 またプレス完了のシャツを自動でハンガーの掛けるオートキャリー付のタイプもあり。
タック・スリーブプレス機	シャツのタック部・袖部のプレス機(ダブルタイプ・シングルタイプ)
カラー・カフスプレス機	シャツの襟部・カフス部のプレス機(ダブルタイプ・シングルタイプ)
包装機	クリーニング完了後の衣類にカバーフィルムを自動で装填する装置。 ハンガーのままカバーする立体タイプとたたんだ状態でカバーする平面タイプがある。
アパレル関連機械	洋服の生産工程、縮絨機(生地を蒸気で安定化させる)、芯地・接着機(裁断後の生地を張り合わせる) プレス仕上げ機(完成商品のシワを取り成型する)



シャツ用ボディープレス機
(Wタイプ・オートキャリー付)



包装機 (立体タイプ)



縮絨機



仕上げ機



2. 2011年3月期 決算の概要



2-1 決算のハイライト

- 業績がU字回復いたしました。
- 企業体質の強化が一段と進みました。
- 太陽電池及びスマートフォン関連装置の受注が急拡大しました。
- グループ会社が増えました。



2-2 事業結果(連結)

単位 百万円

科目	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	対前年 増減額	対前年 増減率(%)
売上高	12,628	9,144	11,498	2,354	25.7%
メモリーディスク	2,238	1,062	2,611	1,549	145.9%
フラットパネル	7,609	6,134	4,330	▲1,804	▲29.4%
半導体	1,164	475	1,257	782	164.6%
太陽電池(PV)	—	203	2,004	1,801	887.2%
FEL	1	2	9	7	350%
クリーニング	1,615	1,266	1,287	21	1.7%
営業利益	255	158	699	541	342.4%
経常利益	430	104	726	622	598.1%
当期純利益	510	11	395	384	3,490.9%
1株当たり当期純利益(円)	54.88	1.27	42.59	41.32	—
営業利益率	2.0%	1.7%	6.1%	—	—
研究開発費	310	286	262	▲24	▲8.4%
設備投資額	217	513	159	▲354	▲69.0%
減価償却実施額	183	295	250	▲45	▲15.3% ¹⁶⁾

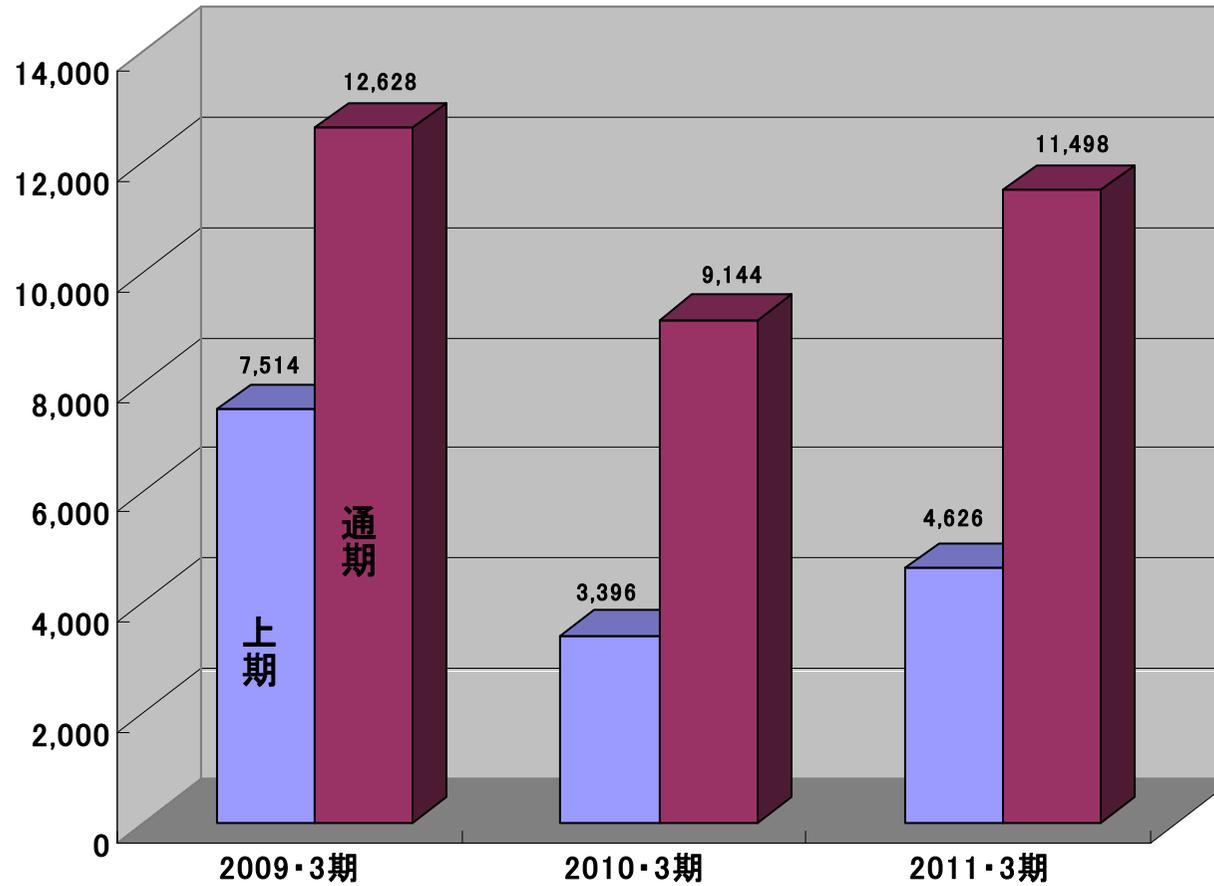


2-3 売上金額の推移(連結)

単位 百万円

全社

売上高





2-4 事業別受注金額(連結)

単位 百万円

科目	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	対前年 増減額	対前年 増減率(%)
メモリーディスク関連	1,667	1,045	2,775	1,730	165.6%
フラットパネル関連	5,778	1,790	4,913	3,123	174.5%
半導体関連	773	839	1,021	182	21.7%
太陽電池関連	—	948	1,965	1,017	107.3%
FEL	1	2	8	6	300.0%
合計	8,220	4,627	10,685	6,058	130.9%

クリーニング関連事業については、販売計画に基づいた見込み生産を行っているため、受注高の表示を割愛しております。



2-5 事業部別受注残金額(連結)

単位 百万円

科目	2009年3月	2010年3月	2011年3月	対前年 増減額	5月20日現在 受注+内示
メモリーディスク関連	291	275	439	164	1,177
フラットパネル関連	7,097	1,178	1,761	583	10,185
半導体関連	10	375	139	▲236	290
太陽電池関連	—	745	706	▲39	893
FEL	0	0	0	—	—
(株)デンコー	—	—	—	—	2,127
合計	7,399	2,574	3,047	473	14,672



2-6 貸借対照表のレビュー(連結)

単位 百万円

科目	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	対前年 増減額
流動資産	13,607	14,076	14,761	685
現金預金	5,351	5,232	6,538	1,305
売上債権	4,647	6,770	5,775	▲994
棚卸資産	2,994	1,682	2,185	502
その他	613	390	262	▲127
固定資産	3,357	3,616	3,681	64
有形固定資産	2,842	3,030	2,916	▲114
無形固定資産	88	100	▲96	▲3
投資その他の資産	426	484	668	183
資産合計	16,965	17,692	18,442	750
流動負債	3,513	4,891	5,206	315
仕入債務	2,443	3,004	3,658	653
短期借入金	611	638	687	48
その他	459	1,248	861	▲386
固定負債	2,654	2,091	2,337	245
社債・長期借入金	2,128	1,560	1,772	212
その他	525	531	564	33
負債合計	6,167	6,983	7,544	560
純資産	10,797	10,708	10,898	189
負債及び資本合計	16,965	17,692	18,442	750



2-7 キャッシュフロー計算書のレビュー(連結)

単位 百万円

科目	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期
営業活動によるCF	3,568	330	1,845
投資活動によるCF	▲11	▲454	▲222
財務活動によるCF	▲2,814	11	▲286
現金及び現金同等物の期末残高	5,344	5,216	6,520



3. 2012年3月期の事業計画 (第10次中期計画3年目)



3-1 2012年3月期事業活動の指針

(1) 2012年3月期のキーワード

- ① スマートフォン関連装置の拡大
- ② 太陽電池事業の規模の拡大と収益化
- ③ グループ総合力の強化
- ④ FEL事業、商品化のメド
- ⑤ 利益体質の向上
 - ・依命システム
 - ・KCS30運動

(2) 当社を取巻く事業環境と重点施策

<ハードディスク市場>

- 新製品高スループット、バーニツシャー装置のシェア100%。
- 新製品開発UVキュア装置のシェア100%。
- 半導体コンベア、消耗品の新規顧客への拡大

<フラットパネル市場>

- スマートフォン及びタブレット市場の拡大により、高密度ドライエッチャー装置、アニール炉のシェアがUPします。

<半導体市場>

- 主力顧客の増加。
- パワー半導体業界に進出。



<太陽電池市場>

- 国内・韓国のほか、新たに台湾・中国顧客の獲得。
- 結晶型シリコンのCVD及び拡散炉の開発。

<クリーニング市場>

- 海外顧客(中国)への販売。
- 海外生産の開始。

<FEL市場>

- 事業化のメド



3-2 2012年度通期計画(連結)

単位 百万円

科目	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期 (見込)		対前年 増減額 (見込)	対前年 増減率(%) (見込)
				(上期)	(通期)		
売上高	12,628	9,144	11,498	7,000	19,000	7,502	65.2%
営業利益	255	158	699	400	1,650	951	136.1%
経常利益	430	104	726	380	1,600	874	120.4%
当期純利益	510	11	395	200	900	505	127.8%
1株当たり当期純利益(円)	54.88	1.27	42.59	21.51	96.80	54.21	—



3-3 事業別売上金額(連結)

単位 百万円

科目	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期 (見込)		対前年 増減額 (見込)	対前年 増減率(%) (見込)
				(上期)	(通期)		
メモリーディスク関連	2,238	1,062	2,611	1,600	3,400	789	30.2%
フラットパネル関連	7,609	6,134	4,330	1,900	7,500	3,170	73.2%
半導体関連	1,164	475	1,257	400	1,000	▲257	▲20.4%
太陽電池関連	—	203	2,004	800	2,800	796	39.7%
FEL関連	1	2	9	0	0	—	—
クリーニング関連	1,615	1,266	1,287	500	1,300	13	1.0%
デンコー	—	—	—	1,800	3,000	—	—
売上合計	12,628	9,144	11,498	7,000	19,000	7,502	65.2%



3-4 過去の事業業績

単位:百万円

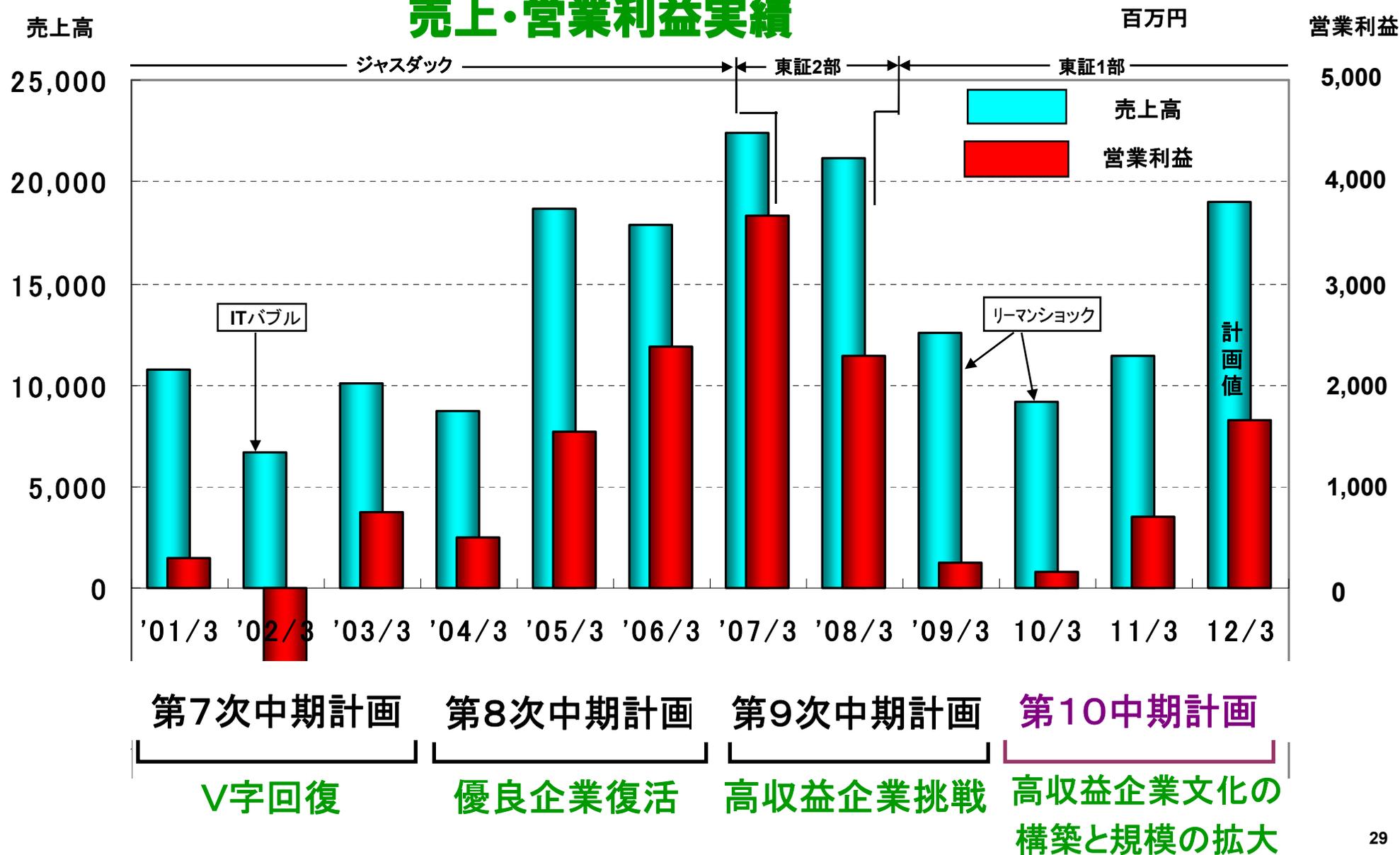
創業	(年度)	売上	営利	コメント
1年目	1974・5	43	1	
5年目	1978・5	220	12	
10年目	1983・5	725	49	
15年目	1988・5	1,692	101	
20年目	1993・5	4,467	369	
25年目	1998・3	7,508	645	
30年目	2003・3	10,055	766	
35年目	2008・3	21,198	2,295	
39年目	2012.3	19,000	1,650	

} 連結



3-5 業績推移と第10次中期計画 (連結)

売上・営業利益実績





4 成長に向けての挑戦

4-1 1000億円企業へのシナリオ

単位:億円

	第10次中期計画最終年度	第11次中期計画			第12次中期計画	
	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3
既存製品グループ	132	2011年9月策定				250
太陽電池	28					250
FEL	—					300
M&A	30					200
合計	190					1,000

4-2 達成への基本戦略

〈1〉既存事業領域の拡大

- ①差別化によるシェアアップ
- ②自社開発、M&Aアライアンスによる取扱製品の増加
- ③消耗品・サービス事業の拡大
- ④グローバル展開の拡大

〈2〉新事業領域への進出

- ①FEL事業の成功
- ②その他自社開発(CVD装置、拡散炉等)
- ②M&A,アライアンス

〈3〉高収益企業文化の推進

- ①依命システムの完全実施
- ②KCS30運動の更なる徹底

〈4〉幹部社員の人材強化

〈5〉コンプライアンス

*** 第11次中期計画(2012~2014)は上期中に策定する。**



業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予数値と異なる可能性があります。

ワイエイシイ株式会社



DENKOのご紹介

遠赤外線の【TOP BRAND】 私たちはデンコーです

お問合せ先

株式会社 **デンコー**

本 社 〒198-0023 東京都青梅市今井3-7-8

営業本部 〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-5-15 OSビル6F

TEL.0428-32-2611 FAX.0428-32-2610

TEL.042-540-5211 FAX.042-540-5212

Overview (会社概要)

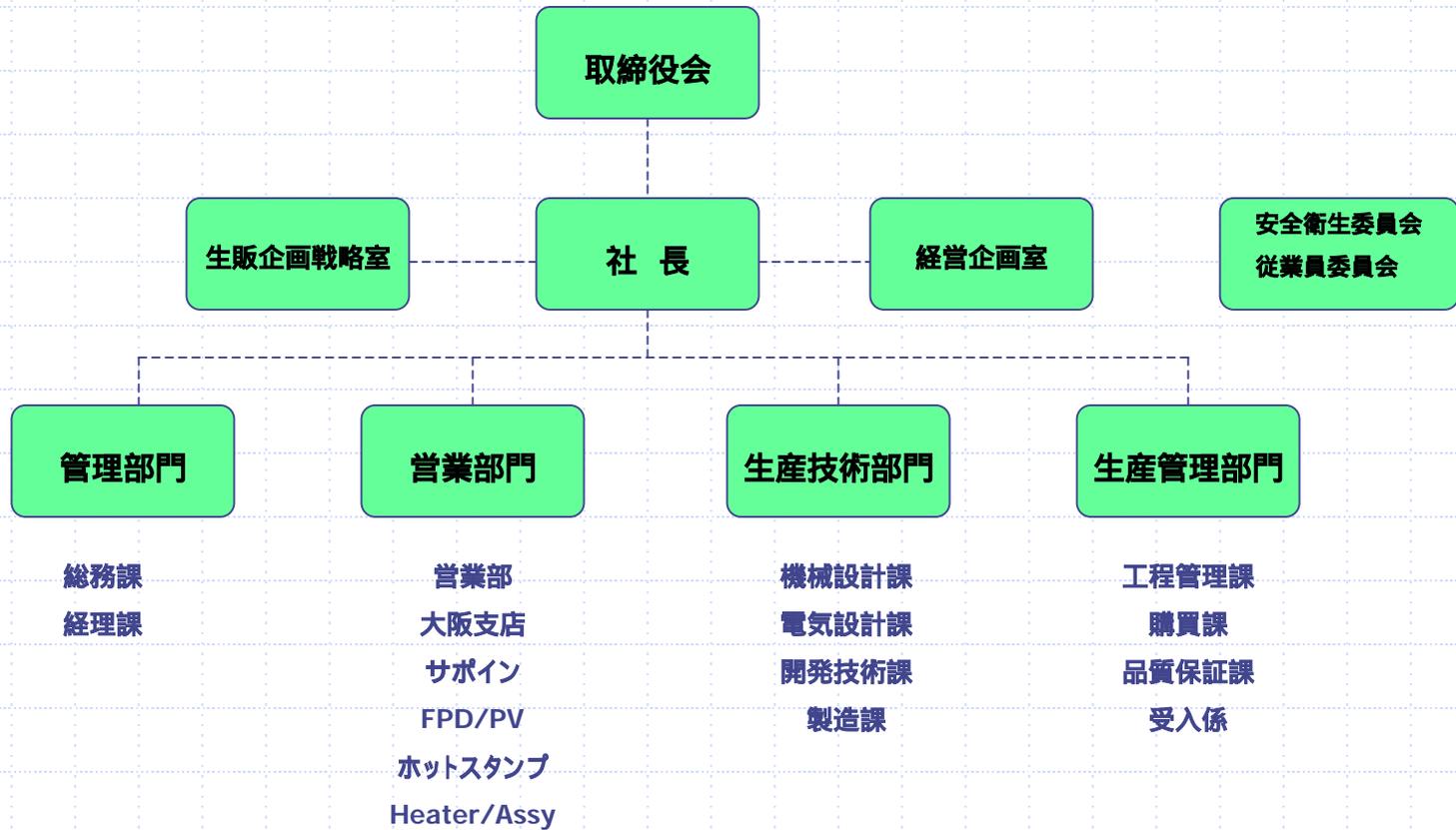
- ◆ 設立
1961年8月25日
- ◆ 本社並びに本社工場
東京都 青梅市 今井3-7-8
- ◆ 大阪支店
大阪府堺市堺区七道西町22
- ◆ 新町工場
東京都青梅市新町9-2183-6
- ◆ 資本金
¥398,000,000.-
- ◆ 決算期
3月
- ◆ 従業員数
89名

2011.04.01現在



(Head-Quarters. Ome Factory)

組織図



INTRODUCTION

当社は、1961年(昭和36年)に国際熱処理工業株式会社として設立し、エネルギー授受の基となる遠赤外線電気ヒータによる熱処理の独自技術とノウハウを蓄積してまいりました。

私どもの技術コアは、遠赤外線による

1. 均等且つ高精度の熱制御技術
2. 気流制御技術
3. クリーン化技術

を確立したことで、近年半導体・液晶ディスプレイに代表されるような、より精度の高い熱処理技術要求に対応し、多くのお客様から高い評価と信頼を獲得しております。そして、いまや生産工程に於いてなくてはならないプロセス装置として認知され、産業界を支えていると自負しております。また、遠赤外線熱処理は、非接触のクリーンな熱源であるという特徴もあり、パーティクル(微粒子状のゴミ)を嫌う精密部品において今後ますます重要性を増すことは言うまでもありませんが、エコロジーへの関心が日々高まっている今、いっそう活躍の場が与えられていくものと考えます。

3つの新芽で、新しい未来へチャレンジします

1つ芽



新規事業へビジネス拡大

2つ芽



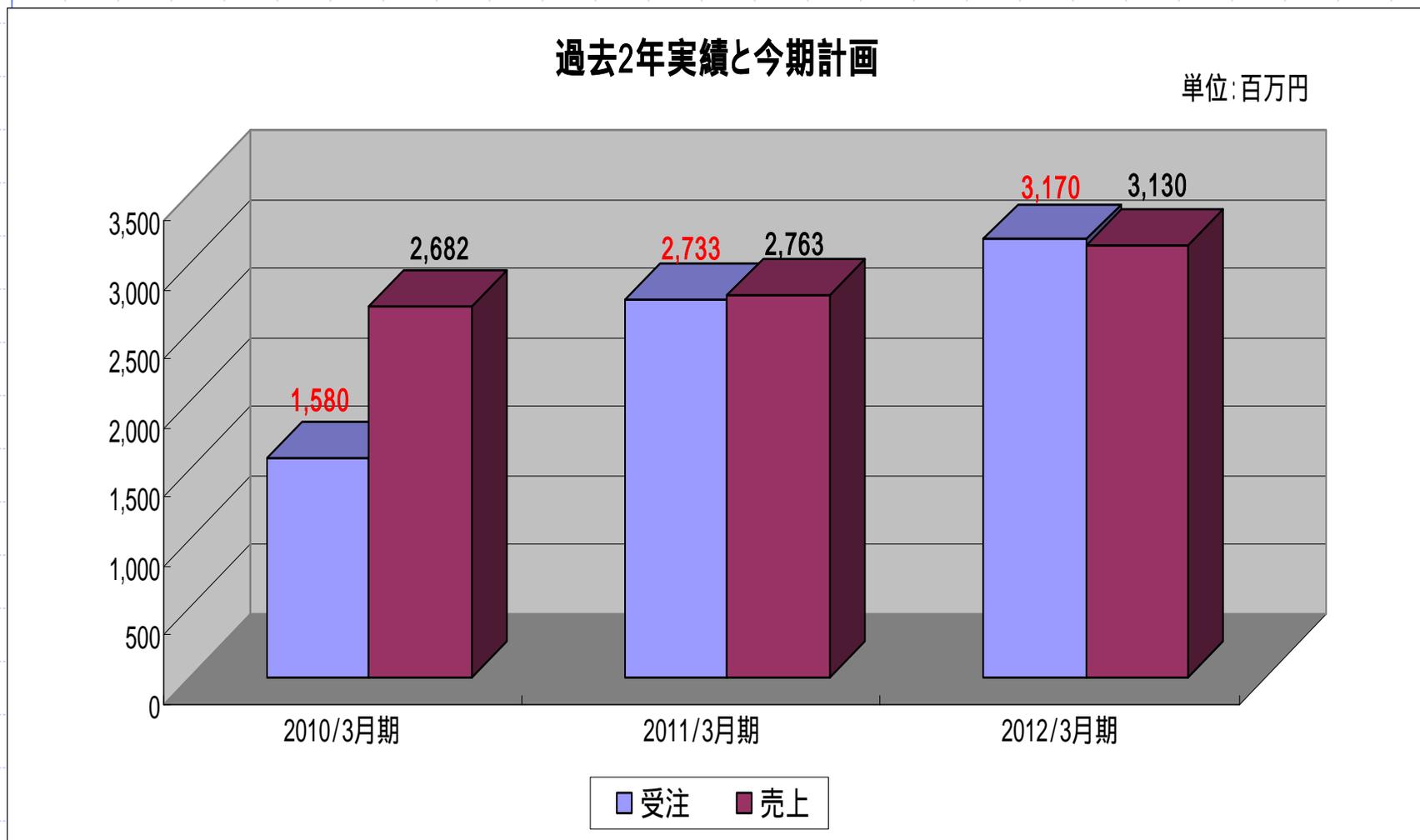
オンリーワン技術を開発

3つ芽

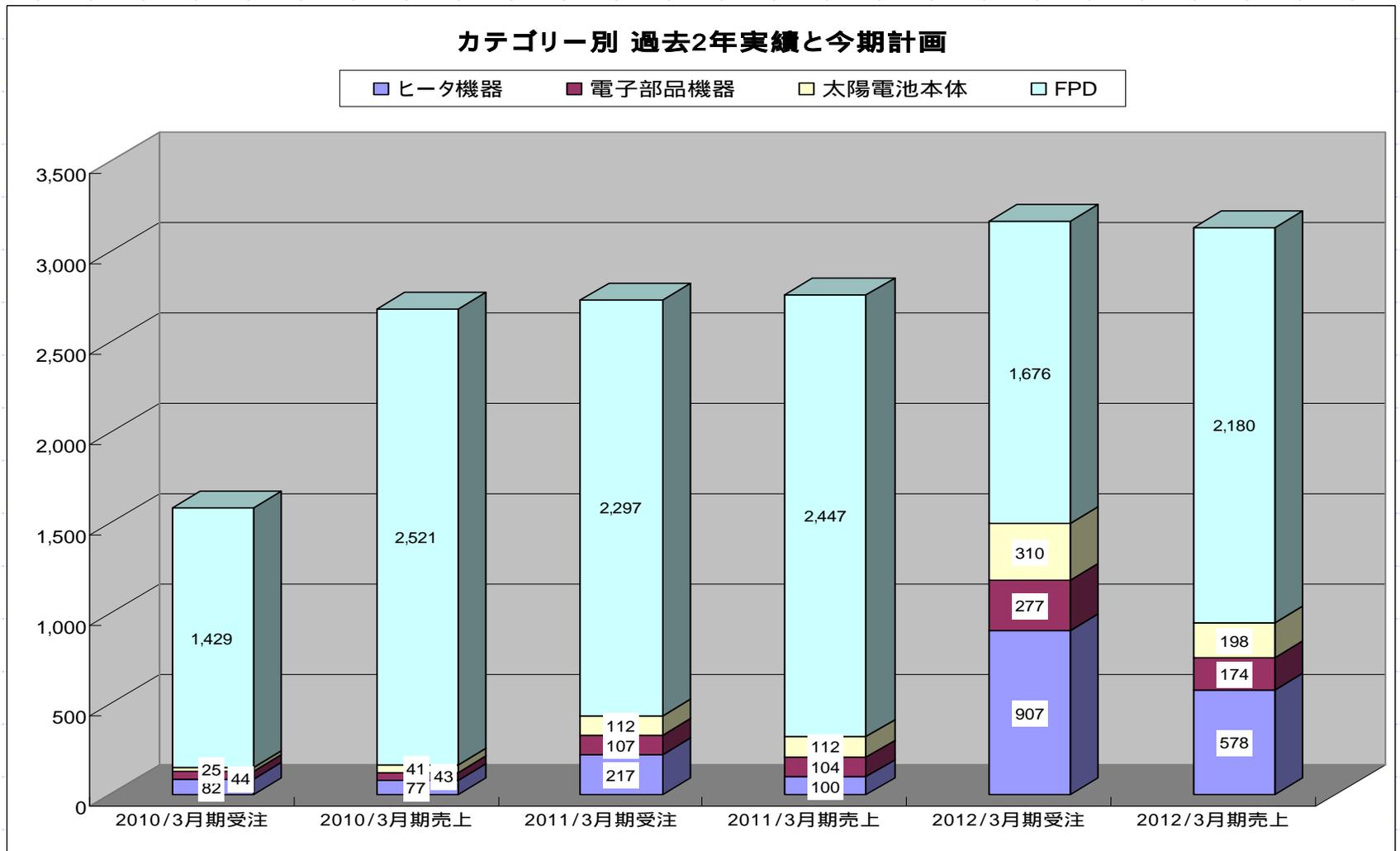


一人ひとりのスキル向上

過去2年実績と今期計画



過去2年実績と今期計画



事業方針

継続的収益向上と成長拡大への基盤づくり

- ・中期事業方針に安定成長と継続的な収益向上を達成目標に掲げ、それを達成する為の事業基盤体制づくりを更に推し進める。
- ・事業推進にあたり、「事業戦略」・「知財戦略」・「研究開発戦略」の三位一体の業務機能を構築する。

戦略は三位一体？

事業戦略

事業の安定成長と収益確保の為、新市場ニーズを捉える。その為にも既存Heater / 熱処理技術を磨き込み、独自KACHI(価値)技術を創製し、つよみ技術を見極めKACHI(価値)技術を新市場分野に活用提案し、新規ユーザを獲得する。

知財戦略

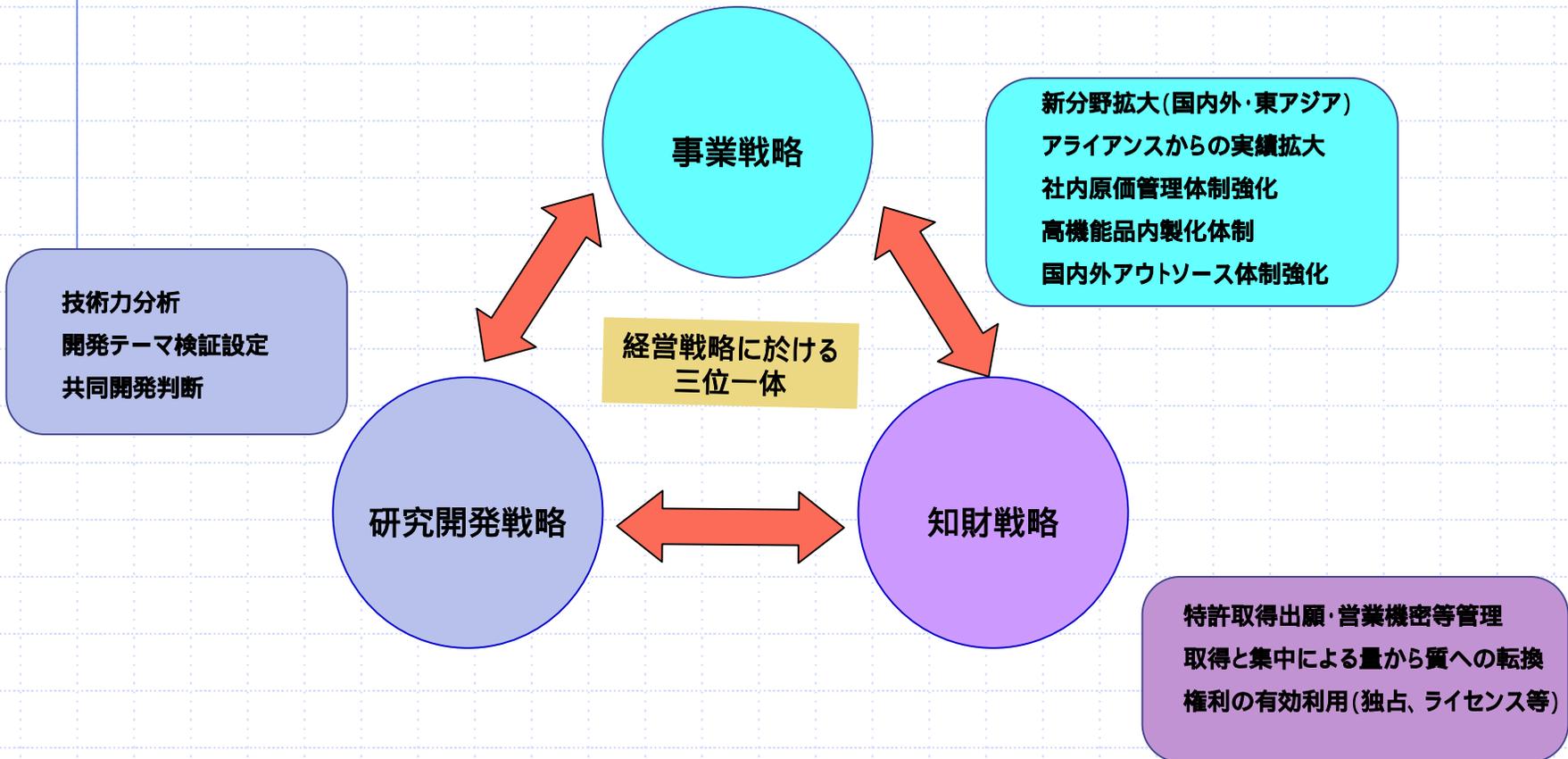
KACHI(価値)技術の保護 / 普及を戦略的に行う。東京都中小企業振興公社「知的財産戦略導入支援事業」と連携し、「事業の優位性の確保」、「事業の自由度の確保」、「事業収益の確保」を目的とし中期(～2012年)までに知的財産管理体制を構築し、高付加価値製品の基盤構築を図る。

研究開発戦略

開発技術が独自技術としてブラックボックス化と標準化をするか知財マネジメントし、他社技術と比較しその技術優位性を確立し、KACHI(価値)ビジネスを創製する。

三位一体

製造技術志向から開発技術志向企業へ転換



事業戦略(1)

環境規制市場で新ビジネスモデル構築

事業展開の**Key産業**として、環境規制ビジネスモデル販促を推し進める。

太陽電池産業 変換効率向上に向けた電極材料に対応し、RTP焼成の開発並びに拡散プロセスにおいては連続拡散炉 / 横型拡散炉を含む装置ラインナップの充実を図る。

自動車産業 CO₂削減、燃費向上要求など車重軽量化へ鋼素材が変化。**高張力鋼板**使用や**炭素系繊維**によるProcessに対応し熱処理要求に加熱炉開発、実績の上積み拡大を図る。
同様、**金型関係への予熱処理**、鍛造工程におけるハイブリッド(IH+IR)環境改善・歩留まり向上をテーマに経済産業省サポイン(～2012/03月)参画、以降市場開拓を進める。

事業戦略(1-2) 詳細

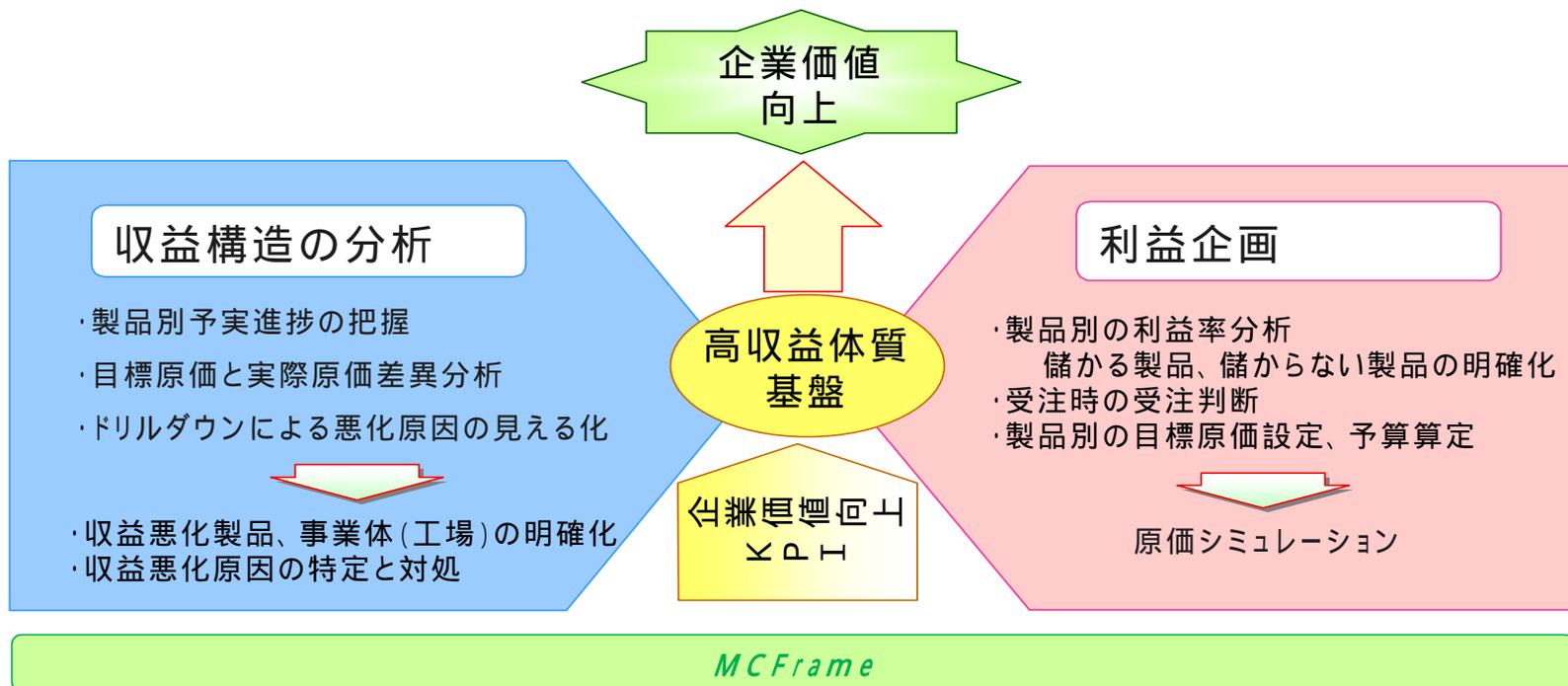
		製品群 / 開発テーマ	対象ユーザ	カテゴリー
既存分野	FPD	~ G10size迄の開発終了 (G11 ~ 対応可能)	Sharp / IPS / LG / 三星 / Boe / 台湾・中国他	既存型
		~ G10 (Array工程層間絶縁膜)		
		タッチパネル用途縦型炉	Wintech他	
	太陽電池	電極焼成用; RTP連続炉評価中 (結晶系)	Sharp葛城	環境型
		WB式拡散塗布後連続乾燥炉 (結晶系)	Sharp葛城 / 堺	
		Eva膜架橋反応炉 (縦型) (薄膜系)	Sharp八尾	
		拡散炉 (横型 / 連続式) 開発検討中	共同開発パートナー: DSI	
電子部品	超高温RTP炉 / 積層チップコンデンサ用開発中	TDK / 村田製作所 / 太陽誘電他	発展型	
	各種雰囲気炉		既存型	
新分野	自動車	高張力鋼板熱間Press用 (ダイクウェンチ法) 炉 連続式 / 多段式新規炉開発	TOYOTA・日産・マツダ・HONDA・日野・アイシン・ユニプレス・菊池プレス・豊田鉄工他	環境型 発展型
	金型	自動車 / 二輪車 / 他車両関係鍛造予熱金型Heater	水野鉄工 / ゴーシュー / 八木工業 / シマノ / 川崎重工 / 住友金属	環境型
	特殊炉	台車炉 / アルミ溶解炉 / ガス炉更新需要		
	経産省	平成21年度経済産業省「戦略的技術基盤技術高度化支援事業」に選定 テーマ「環境対応の高熱効率鍛造加熱法の開発」	各種鍛造部品メーカー (国内外)	発展型
	Heater	高温高効率 (~ 1350)		発展型

事業戦略(1-3) 原価管理体制強化

■ 経営視点の原価管理 ~ 企業価値向上のための原価管理

経営視点の原価管理は、

現状 の収益構造の改善と
将来 の収益確保に向けた利益企画により、
企業価値を向上させることを目的とします



ご清聴ありがとうございました。